



平成27年 3月 17日  
日本原子力発電株式会社

## 敦賀発電所 1号機の運転停止について

当社は、本日開催した取締役会において、敦賀発電所 1号機の運転停止を決定し、その旨を福井県知事ならびに敦賀市長にご報告しました。

敦賀発電所 1号機は、平成23年1月に第33回定期検査に伴い停止した以降も、安全対策を図りつつ再稼働に向けた検討を進めてきました。しかしながら、福島第一原子力発電所の事故を踏まえ大きく見直された規制基準に適合させることは、技術的には可能であると考えられるものの、予定していなかった大規模な追加設備投資と長期にわたる工事が必要であり、また、今般、原子炉の廃止を円滑に進めるための会計関連制度措置が成立したことなどを総合的に勘案し、運転停止を判断しました。なお、敦賀発電所 1号機の廃止は平成27年4月27日を予定しております。

今後、敦賀発電所 1号機については、電気事業法等に基づく諸手続きを進め、安全かつ円滑に廃止措置作業を進めていきたいと考えております。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

以 上

添付資料：敦賀発電所 1号機の概要

## 敦賀発電所 1号機の概要

敦賀発電所 1号機は、日本初の商業用軽水炉として昭和 45 年 3 月 14 日に営業運転を開始し、福井県及び敦賀市の皆様のご理解を頂きながら約 45 年の間運転を行ってきました。その運転を通して得られた技術と経験は、日本の原子力発電の基礎を築きました。

## [敦賀発電所の概要]

設置者	日本原子力発電株式会社	
設置場所	敦賀市明神町 1	
発電所面積	約 220 万 m <sup>2</sup>	
	敦賀発電所 1号機	敦賀発電所 2号機
炉型	沸騰水型軽水炉	加圧水型軽水炉
熱出力	106.4 万 kW	342.3 万 kW
電気出力	35.7 万 kW	116 万 kW
営業運転開始日	昭和 45 年 3 月 14 日	昭和 62 年 2 月 17 日
燃料集合体数	308 体	193 体
蒸気発生器数	—	4 基
主契約者	GE (ゼネラルエレクトリック社)	三菱重工業

※平成 16 年 3 月 30 日 3、4号機増設の原子炉設置変更許可申請

## [経緯 (敦賀発電所 1号機)]

年 月 日	内 容
昭和 40 年 10 月 11 日	原子炉設置許可申請
昭和 41 年 4 月 22 日	原子炉設置許可
昭和 42 年 2 月 27 日	第 1 回工事計画認可。建設着工
昭和 44 年 10 月 3 日	初臨界
昭和 44 年 11 月 16 日	初送電
昭和 45 年 3 月 14 日	営業運転開始
平成 6 年 9 月 12 日	総発電電力量 500 億 kWh 達成
平成 14 年 5 月 30 日	福井県および敦賀市に対し、敦賀発電所 1号機の運転停止時期を「平成 22 年」とする方針を報告

平成21年 2月17日	40年目の高経年化技術評価に基づく長期保守管理方針に係る保安規定変更認可を国に申請 敦賀発電所1号機の運転停止時期を変更することについて検討を開始することを福井県と敦賀市に報告
平成21年 9月 3日	経済産業省は長期保守管理方針に係る保安規定の変更認可福井県および敦賀市に対し、これまで「平成22年」としていた敦賀発電所1号機の運転停止時期を「平成28年」に変更する方針を報告
平成22年 2月22日	福井県および敦賀市が、敦賀1号機の運転停止時期の変更を了承
平成22年 3月14日	国内初の40年超運転

[主なトラブル]

年 月 日	内 容
昭和56年 4月18日	敦賀発電所1号機における一般排水路からの放射性物質の漏えい
平成 9年10月24日	制御棒動作不良に伴う原子炉の手動停止 (ABB長寿命制御棒の膨れによる制御棒と燃料チャンネルボックスの干渉)
平成11年12月 9日	シュラウドサポート部の損傷 (シュラウドサポート付け根部に約300か所の微小なひび割れ(SCC)を発見)

[主な改造工事]

年 月 日	内 容
昭和63年10月11日 ～平成元年 3月 3日	第18回定期検査 低圧タービン取替工事 起動領域モニター(SRNM)日本初導入
平成11年8月20日～ 平成12年12月25日	第26回定期検査 シュラウド取替工事

[発電実績(平成27年4月27日見込み)]

	敦賀発電所1号機
総発電電力量	約847.3億 kWh
発電日数	10,365日
設備利用率	約60.1%